

教育委員会だより

教育委員会の構成



教育長 岩佐 哲男



教育長職務代理者 眞貝 裕利子



委員 橋本 俊雄



委員 進藤 孝



委員 松江 恒治

教育委員会について

教育委員会では、区の教育に関する様々な施策を決めています。委員会は、教育長1名と委員4名で構成し、毎月1回定例会を開催しています。必要に応じて臨時会を開催することもあります。

教育委員会の開催状況

平成30年4月から9月までの間に定例会を6回、臨時会を2

回開催しました。主な議題は次のとおりです。

◆議事案件(18件)

- 平成29年度江東区一般会計歳入歳出決算

◆報告案件(44件)

- 江東区立学校における働き方改革推進プラン(案)の策定について

- 平成30年度新1年生の学校選択結果について
- 学校施設の収容対策について
- 児童向け複合施設の整備について

◆協議案件(7件)

- 平成31年度中学校教科用図書採択について(特別の教科道徳)

◆その他の活動

- 江東区総合教育会議
- こつこつこどもスポーツデー
- 小学校連合運動会
- 周年行事等各種行事

今後の教育委員会開催予定

※平成31年1月11日現在

第1回定例会

1月25日(金)午前10時

第2回定例会

2月20日(水)午前10時

第3回定例会

3月26日(火)午前10時

開催日程、会議の傍聴については、庶務課庶務係までお問い合わせください。

庶務課庶務係

TEL (3647) 9170 FAX (5690) 6911

表彰等のお知らせ

優れた功績があった学校の先生や、学校活動を支援している団体等が表彰されました。

学校医等で医療及び保健衛生の向上に尽力し、功労顕著な方が表彰されました。

東京都教育委員会職員表彰

個人表彰・教職員

関 哲也

第一亀戸小学校長

長郷 友美

明治小学校主任教諭

飯田 憲史

第四砂町中学校主幹教諭

学校活動支援団体等に対する東京都教育委員会感謝状贈呈

学校教育活動支援部門

石山 智子

(南砂中学校推薦)

学校安全支援部門

田中 重行

(第一亀戸小学校推薦)

地域における児童・生徒の育成活動部門

深川二中 おやじの会

(深川第二中学校推薦)

庶務課庶務係

TEL (3647) 9170 FAX (5690) 6911

○文部科学大臣表彰

(学校保健及び学校安全表彰)

畠 晃

香取小学校外7校・園 (学校医)

○東京都功労者表彰

(福祉・医療・衛生功労)

中山 太一

深川第三中学校外2校・園 (学校薬剤師)

○東京都教育委員会表彰

(健康づくり功労)

服部 浩

平久小学校外1園 (学校医)

ハツ繁 悟

第三大島幼稚園 (学校歯科医)

外山 和宏

第四砂町中学校外1校 (学校薬剤師)

学務課給食保健係

TEL (3647) 9177 FAX (3647) 9053

中学校特別支援教室(巡回指導)

平成32年度までに入塾する中学校に設置します。

今年度は区内中学校7校で開設準備中です。

区は、平成28年度から、平成30年4月まで段階的に全ての区立小学校に特別支援教室を設置し、通常の学級に在籍する、知的障害を伴わない発達障害の児童(自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害等)に対して、きめ細やかな指導を行っています。

視点から自己を理解し、自立や進路へつなげることや、ソーシャルスキル・ライフスキルトレーニングによりセルフコントロールする力を育てます。また、自己表現する機会や対人関係の自信回復の機会などの指導(自立活動)を個別指導や小集団指導により行います。

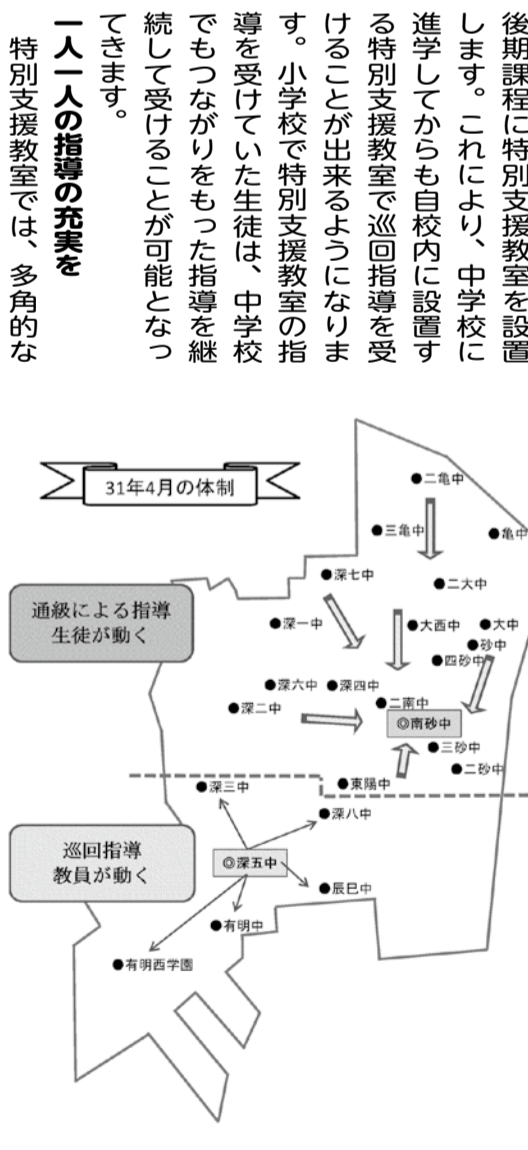
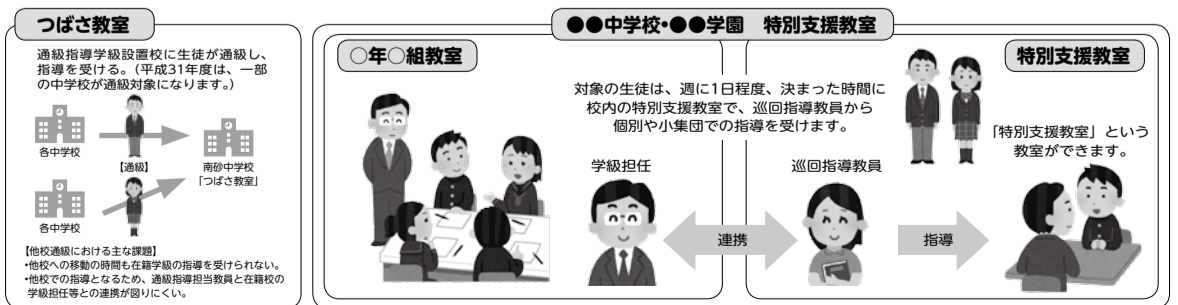
生徒一人一人の学習上や生活上の困難さを改善するためには、特別支援教室での特別な指導だけでなく、在籍学級やご家庭と連携した継続的な指導が重要です。地域や保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

図 学校支援課特別支援教育係

TEL (3647) 9175 FAX (3647) 9053

平成31年度まで、南砂中「つばさ教室」では、通級での指導を継続します。まず、南部地域の拠点校を深川五中とし、深川三中、深川八中、辰巳中、有明中、有明西学園で巡回指導を実施していきます。

利用する生徒の動きと特別支援教室で行う指導



### 江東区立図書館 公共施設向けリサイクル事業

区立図書館では図書館資料としての役割が終わったものや、区民の方から寄贈いただいた資料の中で、引き続き利用可能なものについて、資源の有効活用やリサイクルを図る観点から、保育園、幼稚園、小学校、中学校等の区内公共施設等に提供を行っています。例年、江東図書館の鑑賞室を会場に8月と2月の年2回開催しています。

今年度は、第1回目を8月3日に開催しました。猛暑の中、48施設の方に参加いただきました。人気の児童書を選ぶため、開場1時間前から並ぶ方も多く、施設の方の意気込みが伝わってきました。

会場では、各図書館から集められた資料が背表紙の見える状態で段ボールに詰められ、施設の方の入場を待ちます。



準備は重労働です

いざ開場すると、みなさん真剣なまなざしで選書を行い、気に入った資料を素早く確保していくチームプレーは見事で、会場はかなりの熱気に包まれました。

また、人気の高い「大型絵本」と「紙芝居」については、数に限りがあるため抽選を行いました。



まるで宝探しのよう!



ドキドキの抽選会

希望の資料を手にして、汗をぬぐいながらほっとした表情で会場を後にする施設の方が多かったのが印象的でした。

最終的には児童書を中心に約6,000点を提供するなど、大盛況でした。

当日は図書館に研修に来ていた6名の小学校の先生方にご協力をいただきました。こちらからの指示がなくても的確に行動する姿やフットワークの軽さに感激するばかりでした。

次回は、31年2月に開催予定です。選んだ図書は、後日図書館の車で施設まで運ぶサービスも行っています。

リサイクルされた図書が、新たな施設でも目に楽しく使ってもらえることを願っています。

江東図書館

TEL (3640) 3151

FAX (3615) 6668

## 江東区 児童向け複合施設整備事業

区では、江東区児童会館の閉館(平成30年度末)に伴い、その敷地を有効活用するため、児童会館の敷地の一部を活用し、「子ども家庭支援センター」と「子どもとしゃかん」の機能を有する「児童向け複合施設」を建設することとなりました。

### 白河子どもとしゃかんの移転

白河子どもとしゃかんに隣接する元加賀小学校の児童数増加に伴う教室数の確保のため、白河子どもとしゃかんは、平成34年4月に運営を開始する「児童向け複合施設」に移転します。

移転後の子どもとしゃかんでは、中高生向けの図書や学習コーナーの設置等の拡充を計画しており、図書館サービスの向上を目指し、準備を進めています。



白河子どもとしゃかん ※平成33年度末に児童向け複合施設へ移転予定



### 意見交換会の開催

「児童向け複合施設」を様々なコミュニティを育む、地域の皆様に愛される憩いの場とするため、地域に関わりのある方々に参加していただき、「意見交換会」を開催しました。

第1回 平成30年6月2日  
テーマ:「こんな施設に  
なったらいいな」

第2回 平成30年7月21日  
テーマ:「施設の具体的な  
イメージを考えよう」

第3回 平成30年9月8日  
テーマ:「施設のより良い姿を  
考えよう」

第4回 平成30年12月1日  
テーマ:「地域に愛される  
施設を目指して」



第4回意見交換会の様子(平成30年12月1日開催)

### スケジュール(予定)

- 平成30年度
  - ・基本設計(〜12月)
  - ・児童会館閉館(30年度末)
- 平成31年度
  - ・実施設計
- 平成32年度
  - ・工事実施(解体・新築)
- 平成33年度
  - ・竣工
  - ・指定管理者選定
- 平成34年度
  - ・白河子どもとしゃかん移転(33年度末)
  - ・開設、運営開始

江東図書館管理係

TEL (3640) 3154

FAX (3615) 6668



プログラミング教育推進校  
小名木川小学校

本校は、東京都教育委員会より「プログラミング教育推進校」の2年間の指定を受けて研究を進めています。プログラミング教育は、新しい学習指導要領に含まれている内容です。コンピュータに意図した処理を行うように指示することができることを体験させたり、その活動を通して論理的に考える力を伸ばしたりします。



プログラミングに励む子どもたち

今年度は「スクラッチ」という無償で利用できるソフトを活用して、6年生の算数や4年生の理科で公開授業を行いました。

笑顔満開  
心暖まる園児との交流  
大島西中学校

毎年、3年生が大島幼稚園で保育実習を行います。そのとき「どうしたら園児が楽しめるだろう。」「見向きもしてくれなかつたらどうしよう。」「など様々なることを考えながら、家庭科の取組としてオモチャを作ります。園児と遊んでいる自分の姿を想像しながら、楽しそうに心を込めて工夫します。

当日、行きと帰りでは生徒の顔がまったく違うのです。行きに不安な顔をしていた生徒たちも、帰りにはみんな、幸せそうな笑顔になっています。



園児と遊ぶ生徒たち

後日、園児の代表が学校にやってきました。「楽しかったです。ありがとうございました。」などの言葉と一緒に、園児みんなが描いた絵がプレゼントされ、生徒も手作りのメッセージカードを渡します。

3月になり、卒業直前になると、このとき作ったオモチャの課題を振り返り、改良してプレゼントします。園児たちの喜ぶ姿を思い浮かべながら、改めて保育実習を思い出し、また、笑顔になります。

